

ゲーミングシミュレーション クロスロード「食の安全編」

内閣府食品安全委員会事務局

「クロスロード(Crossroad)」

(商標登録済 商願番号2004-83439および2004-83440)

制作著作：Team Crossroad チームクロスロード

文部科学省の研究プロジェクトの成果物

“Team Crossroad”

吉川肇子(慶應義塾大学商学部、社会心理学)

矢守克也(京都大学防災研究所、防災心理学)

網代 剛(ゲームクリエイター)

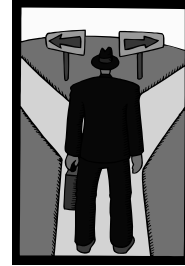


『防災ゲームで学ぶリスクコミュニケーション』 ナカニシヤ出版

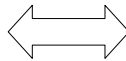
<http://maechan.net/crossroad/shinbun.html>

「クロスロード」サンプル(神戸編1008)

- あなたは食料担当の職員です
- 被災から数時間。避難所には3000人が避難しているとの確かな情報が得られた。現時点で確保できた食料は2000食以降の見通しは、今のところなし。まず、2000食を配る？

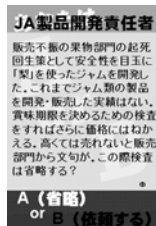


A 配る

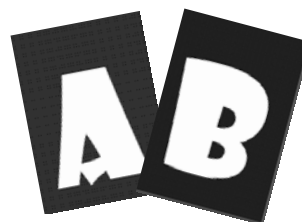


B 配らない

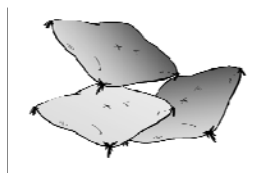
ゲームでつかうもの



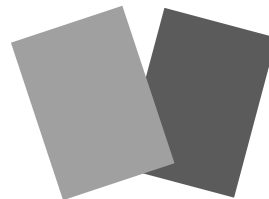
1 設問カード



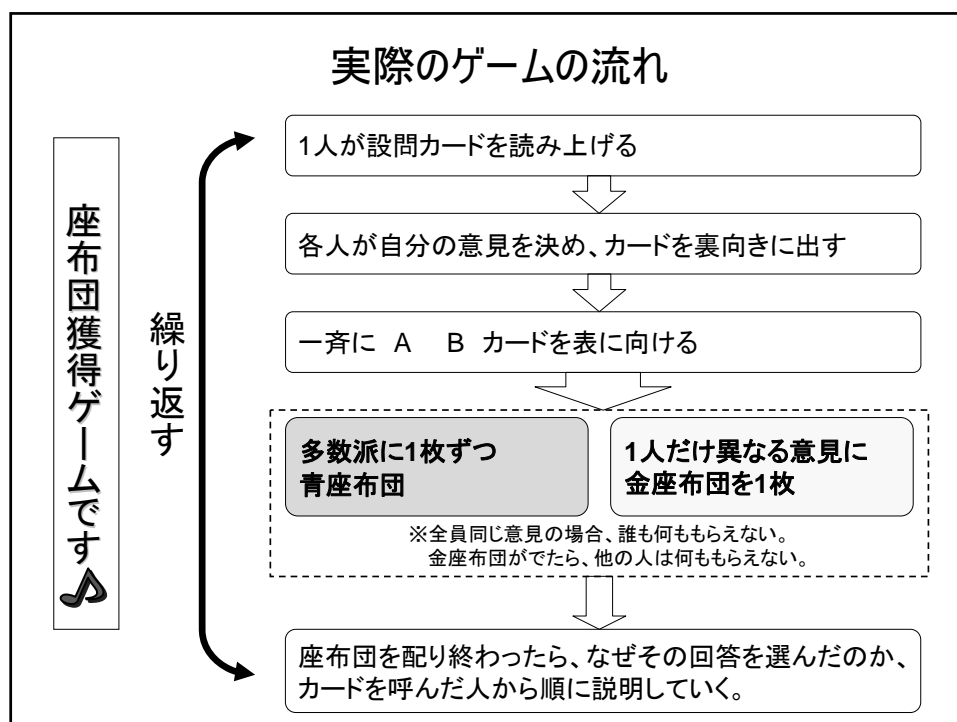
2 意思表示のカード



3 座布団

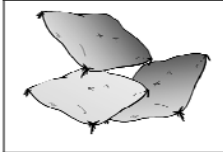


4 全員参加用カード



まずは人の意見を聴くことを念頭に！

- 読み手、意見の発表は時計回りで
- その立場になったつもりで
- なぜA(B)なのか、他者の意見を聴きながら
- 問題点を考えながら
- 自分の考えを伝え議論しながら
- 座布団を獲得しましょう！
- 金座布団を手に入れることを目的にしてもOK！



※最後のふりかえりの時に必要になるので、回答に苦労した設問、設問の意味がわからなかったものがあったら各自メモしておきましょう。

5

あなたは...

生菓子売り場の主任

A このところ、売り場の販売不振が続いている。一発逆転をねらって北海道から仕入れた銘菓も、大量の**Q**残ってしまった。消費期限はあと2日。今日から半額にするか？
B 明日から半額にする？

A 今日から

B 明日から

9

あなたは...

かまぼこ製造業社長

従業員10名の小さな会社だが、堅実に販売実績を伸ばしてきた。たまたま1ヶ月前に販売したかまぼこのラベルに、卵白がアレルギー表示から漏れていたと報告を受けた。新聞に社告を出すと費用がかかる。今販売している製品の表示に問題はない。社告を出すのはやめておく？

A やめておく

B やっぱり出す

9

あなたは...
かまぼこ製造業社長

従業員10名の小さな会社だが、堅実に販売実績を伸ばしてきた。たまたま1ヶ月前に販売したかまぼこのラベルに、卵白がアレルギー表示から漏れていたと報告を受けた。新聞に社告を出すと費用がかかる。今販売している製品の表示に問題はない。社告を出すのはやめておく？

A やめておくを選んだのは 人

← グループの中で →

B やっぱり出すを選んだのは 人

自分が選んだ回答に関わらず、グループで話し合い、それぞれの問題点を考えましょう

A (やめておく)の問題点

! 被害者がでたらどうしよう

B (やっぱり出す)の問題点

! 想定外の出費への対応

それぞれ問題点を列举してください

できるだけたくさん考えてみてください

状況が変われば???

カード No. 9 “あなたは かまぼこ製造業社長 です” の場合

あなたは かまぼこ製造業社長	従業員10名の小さな会社
1ヶ月前に販売した製品 卵白のアレルギー表示漏れ	社告を出すには費用がかかる

{

会社が上場企業
並みに
大きかったら？

同様の事例が
過去にあったら？

アレルギー表示に
該当するもの
でなかったら？

販売が1ヶ月前
でなくて、販売前
だったら？

社告費用を
補助してくれる
機関があったら？

社告をだしますか？それとも・・・？

ふりかえりシート

①あなたが回答を出すにあたり一番迷った設問カードを1枚選んで下さい。

設問の立場：あなたは「」のカード

②その時、あなたはA/Bのどちらを選びましたか？

A B

A

B

③「この状況でこういうことがわかっていたら」、「状況がこう変わっていたら」回答をかえるという事柄をあげてください。

A ⇒ B

B ⇒ A

なぜゲームを取り入れるのか

- ・ 「聴く」「話す」トレーニングが必要不可欠
- ・ リスクコミュニケーションそのものへの理解とそこに参加するという心構え
- ・ 遊びのゲームではないが、言葉の印象から積極的な参加が期待できる
- ・ ゲーム中あるいはふりかえりの際に知識の欠如や問題点に自ら気がつく(自発的な学習)

クロスロードの種類

- 神戸編、一般編
- 市民編
- 海上保安庁(職務特殊)
- 高知編(地域版)
- 感染症編
- 新型インフルエンザ編
- 食の安全編 ◀ 指導者育成講座で実施
- 東海地震編
- 医療安全編 etc...

クロスロードから学ぶ

- 他人の意見を聞き、学ぶ
 - 立場による意見の違い
 - 自分の知らなかったことへの気づき
 - 考え方は人それぞれ
 - ☆ ○○はこう考えることが大事。同じ答えでも理由はひとそれぞれ。
 - 正解のないゲーム (事例はある)
 - ☆ 多数決や全会一致にとられない

- 自分の意見を相手にわかるように伝える

ゲームの活用

- クロスロードを使って意見を引き出す
(意見交換会での一斉挙げ)
- 人の意見を「聴く」、そして「話す」トレーニング
- 社会の問題点の洗い出し
→ クロスロード設問の作成 など



意見交換会での一斉あげ@兵庫県→

実施に際して(ご参考)

- 1グループ5人か7人の奇数人数
- グループの構成メンバーはなるべくいろいろな立場の人をふくめる
- グループ分けの時には性別も考慮する: 女性がいると話がスムーズに進む傾向がある
- 各グループ内にファシリテーターは必要ない
→ 進行役は全体で1人。
- ふりかえりをする(ふりかえりシートをつかって、グループ及び全体で今後の活用方法等議論)
→ 参加者のもやもや感を残さない。

ふりかえりシートの例(ご参考)

クロスロードを実施して・・・

回答に苦勞した設問はありましたか？

設問No.: その設問のどのような点に苦勞しましたか？

他の人の意見や考えで、なるほどと感心したり、ためになると感じた意見はありましたか？

設問No.: それはどのような意見でしたか？

自分たちでゲームを改良するとしたら、どういう点を変えてみたいですか？
あるいは、どういうルールにして使ってみたいと思いますか？

その他、気がついた点などありましたらご記入下さい